

大村市で栽培される 「黒田五寸人参」を知ろう

12月14日(月)

黒田五寸人参の名前の由来

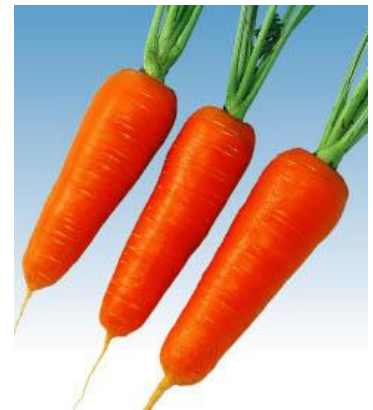
黒田五寸人参は、大村市黒丸町の黒田さんたちが長い間品種改良をくり返して作り出した人参です。昭和23年頃に黒田さんの名前をとって「黒田五寸人参」と名づけられました。五寸というのは長さが15cmぐらいという意味です。その後日本全国に広まり、現在日本で栽培されている人参の



多くがこの品種をもとにしています。大村では黒田五寸原種育成会の人たちがこの種を大切に守り、全国に広める活動をしています。

他の人参とどうちがう？

黒田五寸人参の旬は12月から1月の寒い時期です。他のにんじんに比べて、甘みがあり、やわらかく水分が多いのが特徴です。また、芯が細く中まで紅色です。色がきれいで味がよいため、サラダやジュース、煮物などによく合います。含まれるカロテンの量が多いので、栄養的にもすぐれています。



真夏の暑い時期に種をまき、水やりや草とりなど手間ひまかけて大切に育てられた人参です。今日の給食では黒田五寸人参を使って、「にんじんご飯」を作りました。